

鶴見川流域センター・月例学習会

鶴見川多目的遊水地運用開始7周年記念企画

「鶴見川多目的遊水地 1周ウォーキング」を開催しました。

日時：2010年6月13日(日) 9：30～12：20

場所：鶴見川多目的遊水地（新横浜公園）、流域センター

参加者：子ども11名・大人19名

主催：地域防災施設 鶴見川流域センター

協力：京浜河川事務所、連携鶴見川流域ネットワーク

鶴見川流域センターのイベントは、流域市民のみなさまに野外や屋内で楽しく学習に参加していただくことを通して、遊水地や流域センターの役割、流域の治水・環境、さらに水マスタープランの様々な課題に関心を深めていただくために実施しています。

鶴見川流域を水害から守る大切な役割を果たす「鶴見川多目的遊水地」（新横浜公園 ゆめ・オアシス）は平成15年6月に運用が開始され、今年で7周年を迎えました。また総合治水対策も30周年を迎え、これを記念して、遊水地の周囲を1周するウォーキングを行いながら、普段は入ることのできない越流堤（鶴見川から遊水地に水が入ってくる場所）や排水門（遊水地に入った水を鶴見川へ排水する場所）に入り、遊水地の仕組み、働きを学ぶイベントを開催しました。

当日は30名（大人19名、子ども11名）のかたが参加され、薄曇りの天候の中、川辺の風を感じながらのウォーキングとなりました。

スタート後、まずは周囲堤を時計回りに歩きます。遊水地の中に存在するアシ原では、一時期姿を消しつつあったオオヨシキリのさえずりの声、上空にはヒバリ、セッカが鳴きながら飛び回り、ここが生きものの賑わいの拠点でもある事を実感します。途中遊水地の中（新横浜公園）で行われていた、田んぼの生きもの復活のための田植えのイベントも見学しながら越流堤へ。ここは普段入ることができませんが、この日は特別。遊水地の機能ご紹介の後、いよいよフェンスから中へ入り、周囲堤から斜路を通って3mほど低くなった越流堤の上に立ちます。既に運用開始以来、7回もの越流と共に、ここから遊水地の中に水が入り、水害から下流の街を守る役割を果たした場所です。次のポイントの亀の甲橋では鶴見川の野外水族館を実施。投網の実演では清流の象徴として知られるアユも見ることができ、またウナギやウキゴリ、モクズガニなど8種類の生きものを観察する事が出来ました。

その後は排水門、そしてラポールや日産スタジアムのピロティ建築を見学し、約2時間かけて1周約4.5キロのコースを歩き、全員が無事に流域センターに到着する事が出来ました。

このウォーキングを通じ、遊水地の大きさ、機能、役割を知っていただくと共に、スポーツ、そして生きもの賑わいの拠点としての姿も体感していただく事が出来ました。

### <参加者の声>

- ・ とても楽しかったです。想像以上に広がってびっくりしました。遊水地の役割、しくみだけでなく、生き物の解説、投網なども楽しませていただきました。アユが獲れたのには驚きました。
- ・ 普段入ることのできない越流堤の中も歩くことができておもしろかった。いろいろな鳥の声も楽しかった。
- ・ 多目的遊水地の役割がよくわかりました。また環境にも配慮されている点が興味深かった。
- ・ 新横浜（篠原町）に住んで居て何かつくられて行くんだらうと何年も見て来ましたが（いつも遠くから）近くに入れて遊水地が見れて良かったです。うなぎ、あゆもとれるのにビックリしました。

### <野外水族館で確認できた生きもの>

・アユ ・ウナギ ・ヌマチチブ ・ウキゴリ ・スミウキゴリ ・オイカワ ・モクズガニ ・テナガエビ

### <当日の様子>



1.国土交通省京浜河川事務所新横浜出張所の上林所長よりご挨拶



2.出発前のオリエンテーション  
遊水地の概略を解説。



3.いよいよ出発、コースは基本的に周囲堤の上を歩きます。出発後、周囲堤から多目的遊水地の全容を眺めます。



4.遊水地内にある新横浜公園ではちょうど田植えが行われていたため、見学を行いました。



5. 周囲堤から越流堤に入る前に多目的遊水地と越流堤の紹介を行います。



6. 越流堤には水位計が設置されここで越流時の水位を計測します。ここからは越流の勢いを和らげる減勢池も見ることが出来ます。



7. 減勢池の中にはアオサギも来ていました。何を狙っているのでしょうか？



8. 亀の甲橋では鶴見川に降り、川に住む生きものの観察を。投網の実演も行われ、アユも見ることが出来ました。



9. 常連のヌマチチブやスミウキゴリ、モクズガニなどと共にウナギも観察することが出来ました。



10. 排水門に到着。遊水地に溜まった水はここから鶴見川に排水されます。



11.日産スタジアムの1階部分のピロティ建築を見学。スタジアムを支える1007本の柱が印象的でした。



12.約4.5kmのコースも終盤に差し掛かります。遠くに見える流域センターのある遊水地管理センターの鉄塔を目指し、ラストスパート。



13.流域センター到着後、屋上から今歩いたコースを確認します。改めてこんなに歩いたのかと思うほどの広さを感じました。



14.最後に本日のおさらいをして終了しました。

- ・このイベントは「鶴見川・バクの流域水キャンペーン」に参加しています。
- ・このイベントは「ふれあって流域・鶴見川2009」に参加しています。